

# I. 平成19年度事業報告書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日迄)

## 1. 事業の状況

### ①研究発表会、講演会、講習会等の開催（定款第5条1号）

#### ●第46回総会（京都市）

「消化器がん検診のさらなる展開に向けて」

会長：渡邊能行（京都府立医科大学大学院医学研究科  
地域保健医療疫学）

会期：平成19年6月1日（金）～2日（土）

会場：京都テルサ

参加者：1,046名

総演題：32題

内容：

会長講演(1)

「消化器がん検診のこれから－エビデンスと挑戦の狭間で－」

特別講演(1)

「経鼻内視鏡による食道癌・胃癌スクリーニング」

シンポジウム(2)

「胃がん検診のさらなる展開に向けて－対策型胃がん検診の今後－」

「大腸がん検診のさらなる展開に向けて－適正な要精検率を目指して－」

フォーラム(1)

「胃がん検診ガイドラインをめぐって：有効性評価と今後の課題」

超音波ワークショップ(1)

「再び超音波検診のガイドラインをめざして」

胃合同症例検討会(1)

一般演題「胃・大腸・肝胆膵」（演題数：15題）

附置研究会(3)

「大腸検診精度管理検討研究会」

「第1回胃がん検診方式検討研究会」

「胃内視鏡検診標準化研究会」

#### －第27回部会研究会総会

世話人：第46回総会会長 渡邊能行

会期：平成19年6月2日（土）

会場：京都テルサ テルサホール

内容：シンポジウム(1)

「胃がん検診専門認定技師の精度管理」

一般演題（7題）

参加者：696名

#### ●第45回大会（神戸市）（JDDW2007全面参加）

会長：一瀬雅夫（和歌山県立医科大学第2内科）

会期：平成19年10月18日（木）～21日（日）

会場：ポートピアホテル、神戸国際会議場 他

参加者：16,784名

総演題：189題

内容：

会長講演(1)

「*H.pylori*関連胃炎の自然史に基づく胃がん発生予防・早期発見」

特別講演(3)

「消化器検診学への感謝と期待：基礎がん研究者兼がん生存者として」

「消化器がん検診の明るい未来を期待して」

「ペプシノゲン法による胃がん検診の現状と展望」

報告「平成17年度消化器がん検診全国集計調査報告」

教育講演（JDDW）(6) 自己免疫による消化器疾患  
－診断と治療－

1. 潰瘍性大腸炎

2. クロウン病

3. 自己免疫性肝炎

4. 原発性胆汁性肝硬変

5. 原発性硬化性胆管炎

6. 自己免疫性膵炎

医療研修会（JDDW）(6) 後期臨床研修制度はどうあるべきか

1. 今後の専門医に期待するもの

2. 必修化後の後期専門研修の動向

3. 若手医師の生涯設計からみえるもの/東北大学卒業生を対象とした調査

4. 後期研修－何が大切か？

5. 教育は順序立てて！－ホスピタリストの立場から－

6. 消化器専門研修の立場から

特別企画(5) 胃がん検診、究極の精度管理を目指して

1. 胃がん検診の新たな精度管理体制の構築

2. 胃がん検診に求められる究極のX線画像精度とは

3. 組織特性からみた早期胃癌のX線像診断

4. 胃がん検診におけるX線間接撮影、直接撮影法の標準化

5. 胃がん検診における内視鏡検査の有用性と問題点－X線検診との比較において－

特別企画(6) 消化器スクリーニングup to date

1. がん検診における評価の基本概念

2. NBIの現況とがんスクリーニングにおける将来の展望

3. 大腸がん検診の現状と問題点

4. Colitic Cancerのサーベイランス－潰瘍性大腸炎を中心に－

5. 肝炎ウイルス検査による肝がん検診

6. 膵・胆道がん検診の検診の現状と問題点

特別企画(5) CTコロノグラフィーを用いた大腸がん検診  
画像ワークステーションを用いたデモンストレーション  
とトレーニングコース

1. CTコロノグラフィーに対する今後の期待
2. トレーニング開始に際し(目的・概略)
3. 日本におけるCTC～これまでとCTCを取り巻く現在の環境、そして今後について～
4. 国立がんセンターにおけるCTCの現状
5. Introduction of Virtual Colonoscopy into clinical practice

シンポジウム(4)

- 「胃内視鏡検診の対象集約と高危険群」
- 「効果的な肝がんスクリーニングのストラテジーをめぐって」
- 「特殊光観察による内視鏡診断」
- 「便潜血検査による大腸がん検診の限界」

パネルディスカッション(3)

- 「消化器手術後の内視鏡検査」
- 「高齢社会の消化器スクリーニングのあり方をめぐって」
- 「集団検診以外の胃がん検診をめぐる諸問題」

ワークショップ(6)

- 「新しい画像診断は肝疾患診療をどう変えるか」
- 「新しいアプローチによる消化器がんスクリーニング」
- 「カプセル内視鏡の現況と将来—食道から小腸・大腸までの可能性を探る」
- 「スクリーニングコロノスコピーのあり方をめぐって」
- 「検診発見膵・胆道がんの予後—早期発見に向けて—」
- 「経鼻内視鏡による上部消化管スクリーニングの現状と問題点」

ビデオシンポジウム(1)

- 「経鼻内視鏡は経口内視鏡にどこまで迫れるか？」

一般演題数(上部消化管・大腸・肝胆膵その他)  
(ポスター): 24題

ブラックファーストセミナー(1)ランチョンセミナー(5)  
サテライトセミナー(1)

#### —第28回部会研究会総会

世話人: 第45回大会会長 一瀬雅夫

会期: 平成19年10月21日(日)

会場: 兵庫県看護協会 ハーモニーホール

参加者: 280名

総演題: 16題

内容: シンポジウム「胃がん検診専門技師の役割」

一般演題

- 第3回部会研修会(2)教育講演—「胃癌の高危険群と集約」「切除材料と対比からみた胃癌画像診断」
- 症例検討会(3)

#### ●支部地方会

全国7支部にて地方会(講演、研究発表、研修会など)を開催した。

---

#### 《北海道》 第37回地方会

---

会長: 今村哲理(札幌厚生病院)

会期: 平成19年7月21日(土)

会場: 札幌医科大学講堂

内容: 特別講演「胃癌拾い上げにおける内視鏡検査の精度」

総演題: 17題

参加者: 196名

各種研修会: 医師研修会

平成19年7月21日 参加者34名

技師研修会

平成20年3月8日 参加者220名

超音波研修会

平成19年4月7日 参加者220名

---

#### 《東北》 第45回地方会

---

会長: 須藤俊之(青森県総合健診センター)

会期: 平成19年7月13日(金)～14日(土)

会場: 弘前文化センター

内容: 特別講演「直腸癌に対する外科的治療—手術の標準化に向けて—」

超音波部会教育講演「発見がん症例の生存率による上腹部超音波検診評価の試み」

シンポジウム「新・胃がんX線撮影法の評価」

一般演題他

総演題: 13題

参加者: 175名

各種研修会: 医師研修会

平19年7月14日 参加34名

技師研修会

平19年7月13日 参加113名

超音波研修会

平19年7月14日 参加95名

---

#### 《関東甲信越》 第67回地方会

---

会長: 高田悦雄(獨協医科大学光学医療センター超音波部門)

会期: 平成19年9月1日(土)

場所: 栃木県総合文化センター

プログラム: 会長講演「超音波集検の記録方式」

特別講演「胃癌検診における内視鏡検査の診断精度」

教育講演「胃X線読影の実際」

シンポジウム「胃癌発見率の向上に寄与しうる技師読影とは」

ワークショップ「大腸癌検診の現況と問題点」

超音波部会: 教育講演「膵嚢胞性腫瘍」

「肝悪性腫瘍」  
テクニカルミーティング  
「上腹部スクリーニング」  
一般演題他

---

《東海北陸》 第37回地方会

---

会長：松田一夫（福井県健康管理協会県民健康センター）  
会期：平成19年10月27日（土）  
会場：AOSSAビル（福井市）  
プログラム：シンポジウム「対策型検診元年」  
保健衛生部会「地域におけるがん検診の  
取組み」  
超音波部会「事例から読み解くピット  
フォール」  
「乳腺超音波検診のコツと  
ピットフォール」  
一般演題他  
総演題：11題  
参加者：284名  
各種研修会：技師研修会  
平成19年7月8日 参加者 218名  
超音波研修会  
平成19年9月7日 参加者 272名

---

《近畿》 第36回地方会

---

会長：渡邊能行（京都府立医科大学大学院医学研究科  
地域保健医療疫学）  
会期：平成19年6月2日（土）  
会場：京都テルサ  
プログラム：特別講演「血清学的胃がんスクリーニング」  
シンポジウム「胃癌高危険群の選定はで  
きるか？」  
一般演題他  
総演題：18題  
参加者：141名  
各種研修会：医師研修会  
平成20年2月9日  
技師研修会  
平成20年2月23日  
超音波研修会  
平成20年3月8日  
衛生部会研修会  
平成20年2月1日 参加者 32名

---

《中国四国》 第38回地方会

---

会長：春間 賢（川崎医科大学食道・胃腸内科）  
会期：平成20年2月23日（土）～24日（日）  
会場：川崎医科大学 現代医学教育博物館

総演題：31題  
参加者：287名

---

《九州》 第37回地方会

---

会長：上谷雅孝（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
放射線診断治療学）  
会期：平成19年7月28日（土）  
会場：長崎県医師会館  
内容：会長講演「平成17年度の九州地区消化器がん検  
診結果報告」  
教育講演「新・撮影法とそのPitfall」「今後のが  
ん対策と国立がんセンターがん予防・検診研究  
センターにおけるがん検診」  
放射線技師部会シンポジウム「新撮影法の現状  
と問題点」  
一般演題  
総演題：24題  
参加者：141名  
各種研修会：医師研修会  
平成19年7月28日 参加者 54名  
技師研修会  
平成19年7月28日 参加者 87名

---

●市民公開講座等

---

消化器がん検診に関する一般国民の正しい検診方法の普  
及を図る目的で、市民公開講座を実施した。

- ・主催：第46回総会会長（京都市）「消化器がんと向  
き合い、消化器がんを克服しよう！」

開催日：平成19年6月2日（土）

会場：京都アバンティホール

講演内容：「消化器癌外科治療の現状」「消化器が  
んを克服するために」

- ・主催：第37回東海北陸地方会

開催日：平成19年10月27日（土）

会場：AOSSAビル

講演内容：「救える命をがんで失わないために  
～一人がなすべきこと、国の役割～」

参加者：250名

- ・主催：第38回中国四国地方会

開催日：平成20年2月24日（日）

会場：川崎医療福祉大学

講演内容：「胃がんの予防から診断・治療まで」  
「胃がん検診の精度管理」「ドック胃X  
線検査で指摘できなかった症例の分  
析」「消化管病理診断の実際」

参加者：69名

●第22回医師研修会を行った。

開催日：平成19年6月2日（土）

会場：京都テルサ「第2会場」

講演(4)「消化器がん検診の過去・現在・未来」「胃癌のX線診断－組織所見との比較－」  
「死亡率減少に向けた大腸がん検診の取り組み」「腹部超音波検診の現状と展望」

参加者：71名

②会誌その他研究資料の刊行（定款第5条2号）

- ・学会誌「日本消化器がん検診学会雑誌」を下記のとおり発行した。（隔月、奇数月）

（英文名：Journal of Gastroenterological Cancer-Screening）

略名：日消がん検診誌

英文略：「J Gastroenterol Cancer Screen」

発行年月日	巻号	発行部数
平成19年5月15日	45-3	4,300冊
平成19年7月15日	45-4	4,300冊
平成19年9月15日	45-5	4,300冊
平成19年11月15日	45-6	4,300冊
平成20年1月15日	46-1	4,300冊
平成20年3月15日	46-2	4,300冊

日本消化器がん検診学会雑誌(2007年度)掲載内容詳細一覧  
投稿論文数：11編 依頼論文数：36編

掲載論文の種類		論文数	頁数
	原著	23	190
	経験	4	25
	会長講演	1	7
	特別講演	5	42
	総説	2	22
	ミニレクチャー	1	8
	症例報告	1	6
	この症例に学ぶ	10	40
論文小計		47	340
	委員会報告	2	34
	地方会抄録	6	63
小計		9	125
本文頁合計			449
会告ほか	総会・大会案内		124
	認定医関連		24
	事業報告		79
	支部関連		6
	胃がん検診専門技師関連		27
	他学会案内		2
	その他		2
	投稿規定		12
	編集後記		6
会告ほか頁合計			282
巻頭言			6
インデックス			6
総頁数			731
抄録	総会プログラム・抄録		77
	大会プログラム・抄録		197
総頁数			274

- その他研究資料の刊行  
全国集計委員会において、消化器がん検診の実態調査「全国集計調査」を実施し「平成17年度消化器がん検診全国集計資料集」を発行した。  
発行年月日：平成19年10月1日（年1回）  
発行部数：700冊

---

### ③研究および調査（定款第5条3号）

---

- 全国集計委員会において、消化器がん検診の実態調査「全国集計調査」を実施した。  
実態調査協力施設数：441施設（内 回答数344件）  
調査形態：パソコン対応施設154件、手書き施設：190件  
（廃止になった施設数：1施設）

---

### ④国際的な研究協力の推進（定款第5条4号）

---

- 会員の国際的な研究協力の推進のため「国際学会参加・論文出版支援要項」に従い対象者1名に助成金を交付した。  
対象者：乾 和郎（藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院 消化器内科）  
発表学会：第15回ヨーロッパ連合消化器病週間  
（UEGW2007 10/27-31, Paris, France）  
発表論文：Follow-up of Adenomyomatosis of the Gallbladder Detected by Mass Screening

---

### ⑤その他目的を達成するため必要な事業（定款第5条5号）

---

その他目的を達成するために下記の事業を行った。

- 会員の優れた研究業績に対し「有賀記念学会賞」を授与し表彰した。
  - 第25回有賀記念学会賞 2名  
島田剛延（宮城県対がん協会がん検診センター）  
業績：IFOBTによる大腸癌一次スクリーニングの成績他  
鈴木康元（松島病院大腸肛門病センター）  
業績：スクリーニングTCSの効率的な実施法
  - 第6回学術奨励賞 4名  
服部昌和（福井県立病院外科）  
論文：地域がん登録データを用いた5年相対生存率解析に基づく大腸がん集団検診の評価  
依田芳起（山梨県厚生連健康管理センター）  
論文：腹部超音波検診におけるカテゴリー分類の検討  
日山 亨（広島大学保健管理センター）  
論文：ヘリコバクター・ピロリ感染と胃癌発生からみた胃内視鏡検診間隔  
相田重光（宮城県対がん協会がん検診センター）  
論文：胃集団検診における間接X線検査およびペプシノゲン法の比較検討

- 認定医制度に関する事業  
日本消化器がん検診学会認定医の審査（認定医、指導医、指導施設）を行った。  
平成19年度新規認定医：25名 指導医：7名  
指導施設：7施設  
平成19年度更新認定医：155名（内終身認定医：18名）  
指導医：82名、指導施設：37施設
- 胃がん検診専門技師認定制度に関する事業  
試験日：平成19年9月2日（日）総評会館  
日本消化器集団検診学会胃がん検診専門技師認定の審査（認定技師、技術指導施設）を行った。  
平成19年度新規認定技師：154名、技術指導施設：3施設  
平成19年度更新認定技師：228名

# 平成19年度収支計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

△印減少/単位:円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1 事業活動収入				
①会費収入	( 48,900,000 )	( 47,904,000 )	( 996,000 )	
正会員会費	45,600,000	44,844,000	756,000	
賛助会費	3,300,000	3,060,000	240,000	
②事業収入	( 12,365,000 )	( 11,738,050 )	( 626,950 )	
③学術集会収入(総会)	( 22,740,000 )	( 16,322,026 )	( 6,417,974 )	
学術集会収入(大会)	( 2,700,000 )	( 2,020,837 )	( 679,163 )	
④寄付金収入	( 100,000 )	( 0 )	( 100,000 )	
⑤雑収入	( 200,000 )	( 282,891 )	( △ 82,891 )	
事業活動収入計	87,005,000	78,267,804	8,737,196	
2 事業活動支出				
①事業費支出				
1) 学会費	( 1,800,000 )	( 1,800,000 )	( 0 )	
2) 機関誌発行費	( 23,000,000 )	( 14,502,332 )	( 8,497,668 )	
3) 調査研究費	( 10,050,000 )	( 8,396,561 )	( 1,653,439 )	
4) 認定医制度諸経費	( 3,260,000 )	( 2,277,171 )	( 982,829 )	
5) 技師認定制度諸経費	( 5,580,000 )	( 4,610,811 )	( 969,189 )	
6) 学術研究会費	( 300,000 )	( 222,220 )	( 77,780 )	
7) 国際研究費	( 1,000,000 )	( 111,111 )	( 888,889 )	
8) 学術集会費(総会)	( 22,740,000 )	( 16,322,026 )	( 6,417,974 )	
学術集会費(大会)	( 2,700,000 )	( 1,739,171 )	( 960,829 )	
事業費支出計	70,430,000	49,981,403	20,448,597	
②管理費支出				
1) 会議費	( 150,000 )	( 45,052 )	( 104,948 )	
2) 人件費	( 12,300,000 )	( 11,898,999 )	( 401,001 )	
3) 事務費	( 10,690,000 )	( 8,043,213 )	( 2,646,787 )	
4) 退職給与積立預金支出	( 535,600 )	( 535,600 )	( 0 )	
5) 減価償却積立預金支出	( 371,400 )	( 371,400 )	( 0 )	
管理費支出計	24,047,000	20,894,264	3,152,736	
事業活動支出計	94,477,000	70,875,667	23,601,333	
事業活動収支差額	△ 7,472,000	7,392,137	△ 14,864,137	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	( 5,000,000 )	( 0 )	5,000,000	
事業積立預金取崩収入	5,000,000		5,000,000	
投資活動収入計	5,000,000	0	5,000,000	
2 投資活動支出				
①固定資産取得支出	( 0 )	( 567,000 )	△ 567,000	
固定資産取得支出		567,000	△ 567,000	
投資活動支出計	0	567,000	△ 567,000	
投資活動収支差額	5,000,000	△ 567,000	5,567,000	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>	1,000,000		1,000,000	
当期収支差額	△ 3,472,000	6,825,137	△ 10,297,137	
前期繰越収支差額	20,704,399	20,704,399	0	
次期繰越収支差額	17,232,399	27,529,536	△ 10,297,137	

# 財 産 目 録

平成20年3月31日現在

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金 手許有高	22,781	
普通預金 (三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店)	1,797,982	
普通預金 (みずほ銀行 江戸川橋支店)	4,999,672	
郵便貯金	20,773,273	
有価証券(中期国債ファンド)	50,792	
有価証券(公社債投信)	352,545	
学会賞特別会計分		
普通預金 (学会賞特別会計・みずほ銀行 江戸川橋支店)	59,229	
有価証券(学会賞特別会計)	9,002	
流動資産合計	28,065,276	
2 固定資産		
(1)基本財産		
基本財産・投資有価証券(中期国債ファンド)	5,000,000	
基本財産(学会賞特別会計・有価証券)	13,000,000	
基本財産合計	18,000,000	
(2)特定資産		
退職給与積立預金	2,530,000	
技師認定制度積立預金	20,000,000	
事業運営積立預金	48,860,169	
事務所更新積立預金	5,000,000	
減価償却積立預金	1,989,405	
備品購入積立預金	5,068,725	
学会賞特別会計・事業積立預金	5,000,000	
特定資産合計	88,448,299	
(3)その他の固定資産		
備品	1,070,475	
減価償却累計額	△ 900,765	
無形固定資産	1,927,800	
減価償却累計額	△ 1,098,090	
保証金	360,000	
その他の固定資産合計	1,359,420	
固定資産合計		107,807,719
資産合計		135,872,995
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金(労働保険料)	47,678	
前受金(年会費前受金)	288,000	
預り金(源泉所得税)	131,831	
流動負債合計		467,509
2 固定負債		
退職給与引当金	425,000	
固定負債合計		425,000
負債合計		892,509
正味財産		134,980,486

## 貸借対照表

平成20年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	22,781	33,111	△ 10,330
普通預金	6,797,654	10,870,270	△ 4,072,616
郵便貯金	20,773,273	9,650,333	11,122,940
有価証券	403,337	343,764	59,573
前払金	0	10,752	△ 10,752
流動資産合計	27,997,045	20,908,230	7,088,815
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
投資有価証券	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与積立預金	2,530,000	1,994,400	535,600
技師認定制度積立預金	20,000,000	20,000,000	0
事業運営積立預金	48,860,169	48,860,169	0
事務所更新積立預金	5,000,000	5,000,000	0
備品購入積立預金	5,068,725	5,068,725	0
減価償却積立預金	1,989,405	1,618,005	371,400
特定資産合計	83,448,299	82,541,299	907,000
(3) その他の固定資産			
備品	1,070,475	1,070,475	0
減価償却累計額	△ 900,765	△ 801,525	△ 99,240
無形固定資産	1,927,800	1,360,800	567,000
減価償却累計額	△ 1,098,090	△ 816,480	△ 281,610
保証金	360,000	360,000	0
その他固定資産合計	1,359,420	1,173,270	186,150
固定資産合計	89,807,719	88,714,569	1,093,150
資産合計	117,804,764	109,622,799	8,181,965
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	47,678		47,678
前受金	288,000		288,000
預り金	131,831	203,831	△ 72,000
流動負債合計	467,509	203,831	263,678
<b>2 固定負債</b>			
退職給与引当金	425,000	425,000	0
固定負債合計	425,000	425,000	0
負債合計	892,509	628,831	263,678
<b>III 正味財産の部</b>			0
一般正味財産	116,912,255	108,993,968	7,918,287
(内基本財産への充当額)	( 5,000,000 )	( 5,000,000 )	( 0 )
(内特定資産への充当額)	( 83,448,299 )	( 82,541,299 )	( 907,000 )
正味財産合計	116,912,255	108,993,968	7,918,287
負債及び正味財産合計	117,804,764	109,622,799	8,181,965

